

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2003年10月28日

2003年10月26日現在

10月26日に終わる気象は、Cascade山脈の西側では豪雨の被害が発生し、西側では乾燥・高温の気象であった。州東中央（EC）での最高気温は76～81度F、南東地区（SE）では81～82度Fを記録した。平均気温は平年を8～10度Fも上回った。降雨は殆ど記録され無かった。1週間の州平均農業稼働日数は5.5日（前週：4.7日）であったが、EC及びSEでは7.0日であった。土壌水分は多少前週より改善したが、小麦地帯の圃場では土壌水分不足の状態である。

10月26日現在、播種は全州の99%の圃場にて完了（昨年：99%、平年：98%）し、85%の播種圃場にて出芽した（昨年：89%、平年：90%）。土壌水分不足が出芽を遅らせ、又不揃いの発芽となっている。昨年同期の小麦の生育状態より悪い評価であった。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	11	34	44	11
Subsoil (%)	14	36	50	0
Irrigation Water (%)	5	9	86	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat				
Seeded (%)	99	98	99	98
Emerged (%)	85	82	89	90

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat (%)	2	5	44	47	2

Source: Washington Agricultural Statistics Service

ワシントン州の冬小麦の作付面積実績は次の通りである。

	2000 Crop acre	2001 Crop acre	2002 Crop acre
Winter wheat	1,850,000	1,850,000	1,800,000

2003年8月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1,000 acres		Yield bushels/acre		Production 1,000 bushels	
	2002	2003	2002	2003	2002	2003
Winter W.	1,750	1,800	59.0	64.0	103,250	115,200

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>